

奥大日岳（2606m）大日岳（2498m）

2021年7月31日

JR茨木駅6時集合で立山駅に向かう 7/31~8/1の天気予報は芳しくない
立山ケーブル11:40発の予約をしていたので急いだが 1時間前に立山駅到着
立山カルデラ砂防博物館が運よく無料開放していて入場
展示物を見学し壮大な立山カルデラをイメージする
ケーブル・バスに乗り継ぎ室堂ターミナルへ 午後からはガスが上がり立山の山並みは
見え隠れ チェックイン後 テント場あたりまで散策 沢山の高山植物を堪能した
明日の天気予報は午後から雨 稜線の雷も怖いので5:30出発に決める

8月1日

天気予報は一変して なんと 浄土山から立山三山 今日向かう奥大日岳まで
360度雄大な景色が広がっている
昨日は見えなかった沢山のテント場を横切り 稜線迄上りになる 朝露に濡れた
みずみずしい高山植物が 辛さを和らげでくれる
高度を上げるにつれ雷鳥荘のそばにある地獄谷の煙 室堂ターミナルも眼下にある
室堂乗越からは 剣岳の雄大な姿・様々な花に癒されながらのゆったり稜線歩き
時間はたっぷりある 心癒される山行である
出会うのは室堂から奥大日岳をピストンする登山者が数人の静かな山歩き
剣岳の山肌は時間がたつにつれ 表情を変える Ho氏の山の解説を 皆で地図確認する
剣岳方面は 姿を現したり隠れたりして 奥大日岳山頂（2606m）着 山頂からは
岩がゴロゴロした梯子もある200mほどの下りだが お花畑が続く（キヌガサソウ・しも
つけそう 石楠花他）日本庭園風の七福園（大きな岩が数か所ある）を過ぎ中大日岳を超え
れば大日小屋は 直ぐだった 小屋前で昼食をとり 夕立の前に 大日岳をピストンした
ガスが上がってきていて眺望は残念だが なかった 小屋に戻りしばらくすると 大雨
山の天気急変ぶりは凄い 宿泊者は10名ほどで とても静かなランプの宿だった

8月2日

宿主から日の出は5:10 剣岳山頂に昇るとのこと 早朝朝焼けに染まって刻々と姿を変え
ていく山々を見ながら朝食をとる 日の出前に大日岳山頂へ往復30分ほどかければ
360°の展望があったのに下山の体力温存を考慮してしまったのがちょっと残念！
今日の下山ルートは大日平小屋迄先ず 岩がゴロゴロした急な下りがある 下り始めたら
眺望良く 直ぐに立山から続く薬師岳の稜線の山並みが目に飛び込んでくる 広大な弥陀
ヶ原をバスがとおっていくのが見える 赤い屋根の小屋は見えるが道は長かった
小屋で一息つきワタスゲの残る平らな木道を進み 牛が首からは称名滝までの急な下り
になる 梯子 鎖もあり慎重に 暑さと戦い ゆっくり ゆっくり 無事下山
元気組は称名滝に立ち寄り バス停でソフトクリームを食べ 入浴後帰路へ

メンバー 5 名 (Fu・Ho・Ha・Hi・Na)

コース

7/31 室堂登山口 12:55→みくりが池 12:15 雷鳥荘 13:36 チェクイン後室堂平キャンプ場まで散策

8/1 雷鳥荘 5:30→室堂乗越 7:02→奥大日岳 9:12→梯子 10:12→七福園 11:44→中大日岳 12:00→大日小屋 12:16→チェクイン後大日岳山頂 13:42→大日小屋 14:00

8/2 大日小屋 5:50 大日平山荘 8:45→牛の首 9:48→大日岳登山口 12:05→称名滝→称名滝バス停 13:10→立山駅着 13:30→ 森の風で入浴後帰路へ (K.Fujii 記)

